

令和6年度(2024年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀県立盲学校 幼稚部 2人 小学部 2人 中学部 5名 高等部 普通科 4名 保健理療科 2名 専攻科 5名
-----	---

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	図書館祭りに参加し、読書に親しもう（読書バリアフリーを視野に）
	取組期間	令和6年(2024年)5月8日～令和6年(2024年)11月30日

※令和6年(2024年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年(2024年)11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	20人	実施日数	207日	読書冊数	約100冊	連携した団体数	2団体
	取組内容（概要）	①毎週1回のお話会（幼小学部：職員や図書情報部、高等部生徒による） 期間イベント「図書館祭り」での取り組み ②生徒会へ：ポスター描きなどの協力要請 ③全体ゲーム、お話会、本の紹介コーナー、図書館クイズコーナー等						
	工夫したこと	①毎週のお話会実施で、本を身近に感じられるようにした。 ②図書館へ足がなかなか向かない生徒にもよいきっかけになればと、計画し、ポスター描きを要請した。描きやすいようにあらかじめ下描きをための線でしたり、興味を湧くような楽しいイラストを採用したりして、塗り絵形式で募集した。 ③目が見えない、見えにくい幼児、児童、生徒のために音で構成したゲーム、お話会、クイズ。						
	取り組んだ感想	①幼児から6年生までと実態の幅が広く、お話会での選書に頭を悩ますこともあったが、幼児には幼児の、6年生には6年生の「読み」があることが分かり、様々な本を紹介することができた。また、毎学期1回県立図書館からの出張お話会も子どもたちは楽しみにしており、来ていただくたびに私たち職員もとてもよい学びとなった。 ②児童、生徒の実態に応じて、ポスターを描いてもらった。描くことで、もうすぐ図書館祭りなのだという気持ちを高めることができた。 ③図書館内にクイズコーナーを設置するだけでなく、昼休みに全員に体育館へ集ってもらい、全体ゲーム：「サウンドブランククイズ」を実施した。毎年、みんなで楽しく取り組む恒例行事となっており、幼児から理療科の成人の生徒まで幅広く楽しめるクイズを工夫し、行うことができた。お話会は、『あいさつ番長』という絵本を図書情報部を中心とした職員が役割を決めて音読した。効果音なども有効に入れて、バリアフリーで楽しめるお話会を目指して、脚本から台本の練習、本番まで、全員で取り組んだ。幼児、児童、生徒に喜んでもらったようだが、「セリフが少し多すぎて内容がうまく伝わらなかったのでは」という意見もいただき、次年度へ向けての課題とした。また、本の紹介コーナーに掲示した出品はそのまま本紹介のポップにもなり、児童、						

	<p>生徒、職員も興味深く目を通していた。「この先生がこんな本を読んでいるんだ」「あの生徒さんはこんなジャンルが好きなんだ」と、生徒も職員もなるほど！と思い、新しい読書ジャンルへのきっかけになったことだと思う。</p> <p>図書館内に期間中常設しているクイズコーナーでは、日常生活の中の音を録音し、何の音かを4択の中から選ぶクイズを楽しんだ。</p>
<p>今後の取組予定 (令和6年(2024年)12月 ～令和7年(2025年)3月)</p>	<p>○12月17日には、移動図書館（毎学期1回実施）を予定している。新刊図書や新しく点訳していただいた書籍、理療科の専門書等を書架に掲示して、高等部1階玄関前にて実施。図書館に忙しくてなかなか足が向かわないのであれば、図書館の方から児童、生徒さんの近くに移動しようという企画である。立ち読み大歓迎！もちろんその場で貸し出しや返却もできる。</p> <p>○また、図書館祭り、本の紹介コーナーで掲示した作品を中心に、新刊図書として図書館に購入を予定している。</p> <p>○3学期まで幼小学部対象のお話会は継続する。3学期は、学部の枠を超えて、高等部の生徒が高等部職員と一緒にお話会で本を読んでもらえる予定。図書情報部主任によるICTを駆使したお話会も子どもたちが楽しみにしている。また、3学期も県立図書館の出張お話会を依頼。時間は毎回15分と短くて恐縮なのだが、その積み重ねは貴重である。</p>

①お話会の様子



今年度の幼小学部は対象幼児児童が4名(うち盲児3名、弱視児1名)だが、職員が当番で毎週、様々な本を読み聞かせた。大きな絵本に弱視児が食い入るように見入ったり、盲児が静かに集中して聞き入ったりする様子がみられた。読み聞かせ後の感想もそれぞれ発表し合い、他の友だちの考えや意見を聴く貴重な場になっている。図書時間に図書室を訪れ、読み聞かせやデージー図書を楽しむ姿も毎日見られる。

②図書館祭りの様子



お話会の様子



全体ゲーム(サウンドブラン
クイズの様子



サウンドクイズに挑戦



クイズの答えを投函



本の紹介コーナーは毎年人気



絵本や本の内容に関するク
イズに挑戦中

全校集まってのお話会は、絵本の挿絵をプロジェクターで大きく表示し、図書情報部の職員がそれぞれの登場人物の役を朗読し、効果音も入れて、より臨場感あふれる演出を工夫した。また、今年の全体クイズは「サウンドblankクイズ」と銘打って、様々な曲の一部を聞こえないように流し、その聞こえなかった部分の歌詞を当てるというゲームで、老若男女盛り上がった。また、図書室では、図書館祭り期間中、パソコンを操作しながら解答する「サウンドクイズ」が設置され、多くの幼児、児童、生徒が参加した。およそ7割の幼児、児童、生徒が期間中図書室を訪れ、クイズに参加してくれた。